= '	学院専門学校開講年度			2020年月	芰	科目名	アナウ	ウンス II		
斗目基礎情	 青報			l			l			
 開設学科	声優・演劇科		コース名	コース名 声優コース			開設期	後期		
対象年次	2年次		科目区分	選択	 }択			40時間		
单位数	1単位					授業形態	実習			
 (科書/教材	国語辞典、	アクセント	·辞典、原稿	高 (ニュー)	ス、ナレー	·ション、詩	まなど)	I	•	
3当教員情	 青報									
旦当教員	速水 健司					実務経験	の有無・	職種有、音響	制作	
学習目的	•					<u> </u>		<u>'</u>		
達目標										
1717	· / = / , /	7 67 1 6	0・万た光戸で	こ内の登場	とこ ロ末のた	3 % C 2±114 9	る日末、	日本語文法の習	বি∙	
数育方法 等	 车									
	1	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ング気復しし	ーニングと	百行 た田 い	ア= キュール			\(\text{ii}\)	
			トレスルター・レ		兄個と用い	て 訳み 上りも	录音 しブレ	vバックしながら	進めていく。	
受業概要		、「日日本 *6	て及後ドレ	-	沢侗で用い	(読み上りま	录音しプレ	レバックしながら	進めていく。	
受業概要		· HUX-6	と 汉 後 ドレ	-	沢侗で 円い	(読み上りま	录音しプレ	<i>ン</i> バックしながら	進めていく。	
受業概要									進めていく。	
		ける前に事前	かに配布した	原稿の感じ	の読み方、対	意味は最低剛	艮調べてく		進めていく。	
	授業を受り	ける前に事前	かに配布した	原稿の感じ	の読み方、対	意味は最低剛	艮調べてく)進めていく。	
	授業を受(授業時数の)	ける前に事前 4分3以上出	かに配布した	原稿の感じ	の読み方、対	意味は最低剛	艮調べてく	くること。	進めていく。	
	授業を受り	ける前に事前	かに配布した	原稿の感じ	の読み方、対	意味は最低剛	艮調べてく		進めていく。	
	授業を受(授業時数の)	ける前に事前 4 分 3 以上出 割合 50 %	がに配布した 出席しない者 日本語理解	原稿の感じ は定期試験 な な と 基礎表現	の読み方、うを受験する。	意味は最低隊ことができた	艮調べてく	くること。	進めていく。	
主意点 評 価	授業を受り 授業時数の 種別	ける前に事前 4 分 3 以上出 割合 50 %	がに配布した 出席しない者	原稿の感じ は定期試験 な な と 基礎表現	の読み方、うを受験する。	意味は最低隊ことができた	艮調べてく	くること。	進めていく。	
主意点 評 研 方	授業を受 授業時数の 種別 実技氏試験	ける前に事前 4 分 3 以上出 割合 50% 20%	がに配布した 出席しない者 日本語理解 単元ごとの	原稿の感じは定期試験は定期試験	の読み方、 を受験する。 見力を見る トや文法テ	意味は最低隊ことができた	艮調べてく よい。 備	くること。	進めていく。	
主意点 評 価	授業を受 授業時数の 種別 実技氏試験 小テスト	ける前に事前 4 分 3 以上出 割合 50% 20%	がに配布した 出席しない者 日本語理解 単元ごとの	原稿の感じは定期試験は定期試験	の読み方、 を受験する。 見力を見る トや文法テ	意味は最低M ことができな ストなど	艮調べてく よい。 備	くること。	進めていく。	
主意点 評 価	授業を受 授業時数の 種別 実技氏試験 小テスト	ける前に事前 4 分 3 以上出 割合 50% 20%	がに配布した 出席しない者 日本語理解 単元ごとの	原稿の感じは定期試験は定期試験	の読み方、 を受験する。 見力を見る トや文法テ	意味は最低M ことができな ストなど	艮調べてく よい。 備	くること。	進めていく。	
注意点評価方法	授業を受 授業時数の 種別 実技氏試験 小テスト	ける前に事前 4 分 3 以上出 割合 50% 20% 30%	がに配布した 出席しない者 日本語理解 単元ごとの	原稿の感じは定期試験は定期試験	の読み方、 を受験する。 見力を見る トや文法テ	意味は最低M ことができな ストなど	艮調べてく よい。 備	くること。	進めていく。	
主意点評価方法計画	授業を受り 授業時数の 種別 実技氏試験 小テスト 平常点	ける前に事前 4 分 3 以上出 割合 50% 20% 30%	がに配布した 出席しない者 日本語理解 単元ごとの	原稿の感じは定期試験は定期試験	の読み方、 を受験する。 見力を見る トや文法テ	意味は最低M ことができな ストなど	眼調べてく が。 備 ・ ・ に 臨む	くること。	進めていく。	
主意点 評価方法 受業計画	授業を受り 授業時数の 種別 実技氏試験 小テスト 平常点	ける前に事前 4 分 3 以上出 割合 50% 20% 30% 可)	がに配布した 出席しない者 日本語理解 単元ごとの	原稿の感じ は定期試験 な基礎表現 文書学テス 予習、復習	の読み方、うを受験する。 見力を見るトや文法テ	意味は最低M ことができな ストなど	表 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	くること。 考 ご姿勢	進めていく。	
主意点 評 価方法 受業計画 回	授業を受 授業時数の 種別 実技氏試験 小テスト 平常点	ける前に事前 4 分 3 以上出 割合 50% 20% 30% 可)	がに配布した 出席しない者 日本語理解 単元ごとの	原稿の感じは定期試験 は定期試験 な基礎表現 でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の読み方、 き受験する 見力を見る トやしてい と目標につ	意味は最低M ことができた ストなど るかなど授	表 はい。 備 名 る	くること。 考 ご姿勢		
主意点 評 価方法 受業計画 1回 2回	授業を受 授業時数の 種別 実技氏試験 小テスト 平常点 (1回~10	ける前に事前 4 分 3 以上出 割合 50% 20% 30% 可)	がに配布した 出席しない者 日本語理解 単元ごとの	原稿の感じは定期試験 なと基礎表現 アンス できませい できませい できます はまます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はい	の読み方、i を受験する。 見力を見る トやしてい と目標につ ツ (球技1)	意味は最低限ことができた ストなど るかなど授	表 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	ること。 考 ご姿勢 可の到達目標	· 3	
主意点 評 価方法 評価方法 1回 2回 3回	授業を受り 授業時数の 種別 実技氏試験 小テスト 平常点 (1回~10) ガイダンス 実況①	ける前に事前 4 分 3 以上出 割合 50% 20% 30% 可)	がに配布した 出席しない者 日本語理解 単元ごとの	原稿の感じ は定期試験 な基礎表現 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の読み方、 を受験する。 見力を見る トやしてい と目標につ ツ (球技1) ツ (球技2)	意味は最低M ことができた ストなど るかなど授 いて理解す の種類と表	表表 表表 表表 表表 表表 表表 表表 表表 表表 表表	(ること。 考 ご姿勢 回の到達目標 いて実況し理解す	· 3	
主意点 評価方法 計 1 回 2 回 3 回 4 回 4	授業を受 授業時数の 種別 実技氏試験 小テスト 平常点 (1回~10 ガイダンス 実況① 実況②	ける前に事前 4 分 3 以上出 割合 50% 20% 30% 可)	がに配布した 出席しない者 日本語理解 単元ごとの	原稿の感じ は定期試験 な基礎表現 で で で で で で で で で で で で で で の で の で の	の読み方、 を受験する。 見力や文し を見法でい と目標は でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	意味は最低M ことができた ストなど るかなど授 いて理解する の種類と表 (技)の種類	関い、 備 に る 表 現 に つ に で は 現 に で は 現 に で は で で に で に で に で に で に で に で に で に	(ること。 考 ご姿勢 可の到達目標 で実況し理解す で実況し理解す	·る ·る 平する	
注意点 評価方法 計回 2回 1回 2回 4回 5回	授業を受り 授業時数の 種別 実技氏試験 小テスト 平常点 (1回~10 ガイダンス 実況① 実況② 実況③	ける前に事前 4 分 3 以上出 割合 50% 20% 30% 可)	がに配布した 出席しない者 日本語理解 単元ごとの	原稿の感じ は定期試験 な基礎表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の読み方、 を受験する。 見力や文し を見法でい と目標は でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	意味は最低M ことができた ストなど るかなど授 いて理解する で種類と表 で、 を上競技 で、 を上競技	関い、 備 に る 表 現 に つ に で は 現 に で は 現 に で は で で に で に で に で に で に で に で に で に	(ること。 考 ご姿勢 可の到達目標 いて実況し理解す いて実況し理解す ついて実況し理解す	·る ·る 平する	
価 方 法	授業を受 授業時数の 種別 実技氏試験 小テスト 平常点 (1回~10 ガイダンス 実況① 実況② 実況②	ける前に事前 4 分 3 以上出 割合 50% 20% 30% 可)	がに配布した 出席しない者 日本語理解 単元ごとの	原稿の感じ は定期試験 な基礎表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の読みする 見 ト 習 と ツ ツ ツ に み か ま な し て い ツ ツ に に 技 技 営 闘 て に 技 対 営 闘 て で 1) ご 競 技 す	意味は最低M ことができた ストかなどど で種類とを でででででででででででででででできます。 ででででででできます。 でででできます。 でででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできまます。 ででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできまます。 ででできまます。 ででできまます。 ででできまます。 ででできまます。 ででできままます。 ででできままます。 ででできままます。 ででできまままままままままままま。 ででいてできまままままままままままままままままままままままままままままままままま	関い、 備 に る 表 現 に つ に で は 現 に で は で で に で に	(ること。 考 ご姿勢 可の到達目標 いて実況し理解す いて実況し理解す ついて実況し理解す	·る ·る 平する	

情報バラエティー番組 台本作り

情報バラエティー番組 収録

情報バラエティー番組 テスト収録

8回

9 回

10回

ラジオ② ラジオ③

ラジオ④